



学校だより

平成29年度 第11号 3月1日

都立王子特別支援学校 校長 葛岡 裕

〒114-0033 北区十条台1-8-41 TEL3909-8777



「社会人として地域を担う皆さんへ」

校長 葛岡 裕

今年の冬はとても寒さが厳しく、2学期の終業式には、「私が長く生きてきた中でも最も寒い冬です。」とあいさつをしました。「もしかすると、今年は春が来ないのでは？」と心配になるほどでしたが、玄関前の梅の花が今年も咲きました。今年の開花は2月16日と例年より10日ほどゆっくりでしたが、寒さに耐えた分、一輪一輪に力強さを感じます。初夏にはたくさん実をつけることでしょう。

平成29年度の最後の月を迎えました。この1年間を振り返ってみますと、学校内の活動だけでなく、地域の中に学習活動のフィールドを求め、私たちの得意なことで地域とふれあい、地域に貢献した1年であったと思います。地域活動は交流協力校との学習に限らず、中部フェスタ（特別支援教育理解啓発推進事業）では高等学校との書道パフォーマンスやカラーリングの紹介、部活動の遠征、中央公園の清掃活動、大学の食堂等の除菌清掃活動、小学校の花壇等の整備、特別養護老人ホームでの合唱披露など作業班や部活動の単位で、自分たちの強みとしている活動を地域の必要としている人に喜んでいただきました。地域に開かれ、地域に貢献することで自信となった1年だったと嬉しく思います。

さて、3月16日は東京都立王子特別支援学校第50回卒業式です。3年生59名は本校所定の課程を修め卒業します。これまで、一人一人目標を掲げ学業を積み重ねてきたこととともに、仲間と協力して本校53年の重要な一ページを綴ってくれたことに敬意を表します。これから、社会人として地域を担う皆さんへ人生を歩むうえで心掛けてほしいことを記します。私が卒業生に毎年伝えていることです。

『夢をもち、目標をもって努力を続けましょう』

人生に夢があることは素晴らしいことです。夢を抱き、目標を掲げ、努力を続けることで自身の視野や活動の世界が広がります。皆さんも夢を語り、目標を掲げて努力をしてきました。本校にいらして下さった地元の力士、常幸龍さんも平昌のオリンピック・パラリンピアンの方々も夢に向かって努力を続けてきました。皆さんもこれからの人生、夢を抱き、自己実現に挑戦しましょう。

『自分を表現し、意思を伝えていきましょう』

子供も大人も、障害のある人もない人も、誰にでも優しい社会づくりが求められています。その実現のためにはお互いを理解し尊重し合うことが重要です。学校では、部活動などで自分の好きなスポーツや芸術を通して表現したり、生徒会選挙の学習を通して主権者としての責任や行動を学んだりしました。皆さんの得意な活動や率直な意見は周囲の人を励まし相互理解につながっていきます。恥ずかしがらずに自分のことを発信しましょう。

『必要なときは適切な支援を受けましょう』

社会人として新たな人生がスタートします。仕事など、自分の役割を果たしていくために日々努力することは素晴らしいことです。もし、自分の努力で解決しない時には、家族や友達に相談したり、支援機関を活用したり、必要な支援を求めましょう。家庭の役割と社会の役割を果たしていくために、生活の安定を図り、健康に過ごすよう努めることが大切です。

一人一人かけがえのない人生です。社会人としての活躍を期待するとともに、充実した日々を過ごしてほしいと願います。

1、2年生は進級します。3年生と共に学校生活を営み、学んだことを礎にして、明るく活気のある学校づくりの主役となってください。2年生は最上級生としての自覚をもって、1年生は先輩としてのおおらかさをもって進級しましょう。

☆今月の本校のホームページの更新の紹介☆



- ・王子美術館 ・給食のメニュー紹介
- ・第24回 東京ゆうあいバスケットボール選手権大会
- ・平成29年度 アートキャラバン展 第6団の開催について
- ・学校便り10号

ぜひ一度ご覧ください。